

学研賞

家にあるえんぴつは10年分！？

京都府 洛南高等学校附属小学校 1年 江藤実桜

講評

お母さんに鉛筆をおねだりしたときに、「家には10年分あるわ！」と怒られたことがきっかけとなってこの研究が始まりました。百マス計算をして新品の鉛筆を使い切るのにかかる日数や使える長さ、家にある鉛筆の総量などを調べて計算するという地味な活動を続けましたが、最終的に家にある鉛筆は「4年分」であるとわかり、お母さんにリベンジできたのが愉快です。また、副産物として、百マス計算の記録がかなり更新したそうです。

中央審査委員会